

Ⅱ 花き(切花)情報

7月(中旬)までの経過

出荷のメインである高冷地における梅雨の曇天・低温により、6月下旬は入荷量が前年をかなり下回り、高い相場となった。一転して7月上旬は高温となったため入荷量が前年を大幅に上回ったが、新盆需要が高く、相場は前年を大幅に上回った。7月中旬は平年並みの入荷量となったが、新盆も終わり、弱保合となり、相場は前年をやや下回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経 過
入荷量	出荷のメインである高冷地における梅雨の曇天・低温により、6月下旬は前年をかなり下回り、一転して7月上旬は高温となったため前年を大幅に上回った。7月20日には平年並みの梅雨明けとなり、7月中旬の入荷量は平年並みとなった。
相場	入荷量の少なかった6月下旬は前年をかなり上回った。また入荷量の多かった7月上旬であったが、新盆需要が高く相場は前年を大幅に上回った。7月中旬は平年並みの入荷量となったが、新盆も終わり、弱保合となり、前年をやや下回った。
動向	今年の新盆は入荷量が多かったが、それを上回る需要があり、高い相場となった。ただ梅雨明けはしていなかったが、7月7日以降は各地で猛暑日を観測するなど気温が高くなり、新盆以降は弱保合いとなり、かつ入荷物も痛み等が生じている記事物の割合が増え、なかなか競り落とされず、競り予定時間を超過することもあった。

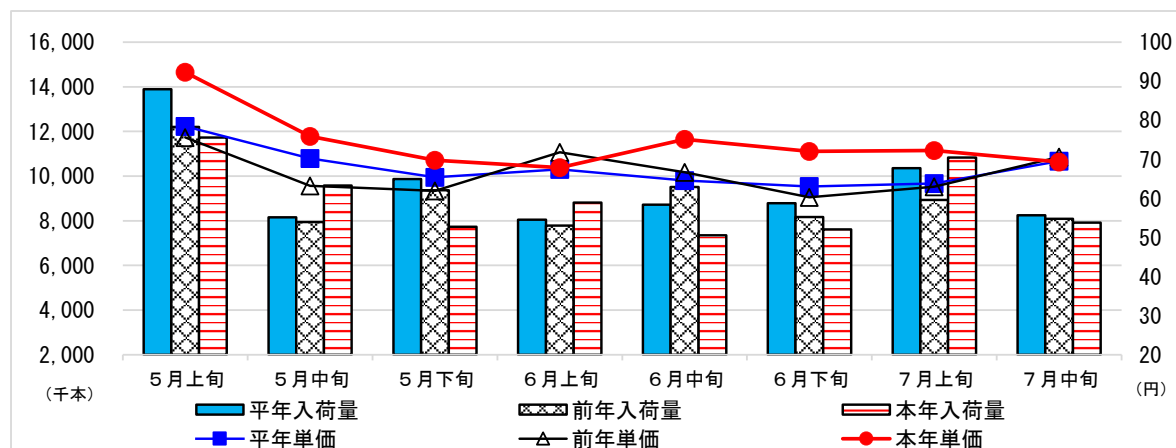
品目別経過

品目	経 過
SPキク	(株)フラワーオークションジャパン 7月10日までは新盆需要により引き合いがあったが、その後は高温の影響により販売が停滞した。
リシアンサス	(株)世田谷花き 千葉、長野、福島、山形、北海道などからの入荷がメイン。梅雨らしい天候が続く、開花は急いでいない。入荷は少しずつ増えているが、本格化するの月下旬以降となる。
ヒマワリ	(株)大田花き オレンジ系中心に出回り数量が増加。八重系なども増加している。需要面では、花持ちの面から使う顧客が増えてきた。

8月の見通し

品目	見 通 し
輪ギク	(株)世田谷花き 入荷量は昨年並みを見込む。旧盆需要もあり、単価は保合から強保合の見通し。
コギク	(株)フラワーオークションジャパン 8月初旬から旧盆向け入荷が増加する見込み。生育は順調で、色目も揃い、相場は保合で推移する見通し。
カーネーション	(株)フラワーオークションジャパン 引き続き北海道産、長野県産を中心とした入荷となる見込み。入荷量は微増する見込みであり、旧盆需要により強保合相場で推移する見通し。

7月の入荷量と単価の経過<確定値>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均